

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月24日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都千代田区九段北4-2-28	
氏 名 株式会社 ナカノフドー建設 国内事業本部	
常務執行役員 高尾 功	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-3265-4681	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ナカノフドー建設 奈良県管轄内事業場
事業場の所在地	奈良県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	前年度完成工事高： 481百万円
③従業員数	141人（令和7年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①構造・規模・用途に合わせた総原単位及び混合原単位目標を設定 ②ゼロエミッション活動の展開 (官庁5億・民間8億以上の作業所)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①構造・規模・用途に合わせた総原単位及び混合原単位目標を見直し ②ゼロエミッション活動の展開 (官庁5億・民間8億以上の作業所) 継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①工程に合わせた分別品目の見直し実施 ②新築・改修・解体等工事別に分別率目標の設定
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①工程に合わせた分別品目の見直し実施継続 ②新築・改修・解体等工事別に分別率目標の見直し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量し た 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量す る 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①地域別指定業者制度を実施 ②電子マニフェスト活用拡大（請負金1,000万円以上） ③処理施設の確認		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	①地域別指定業者制度を実施 ②電子マニフェスト活用拡大使用率100% ③処理施設の確認		

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

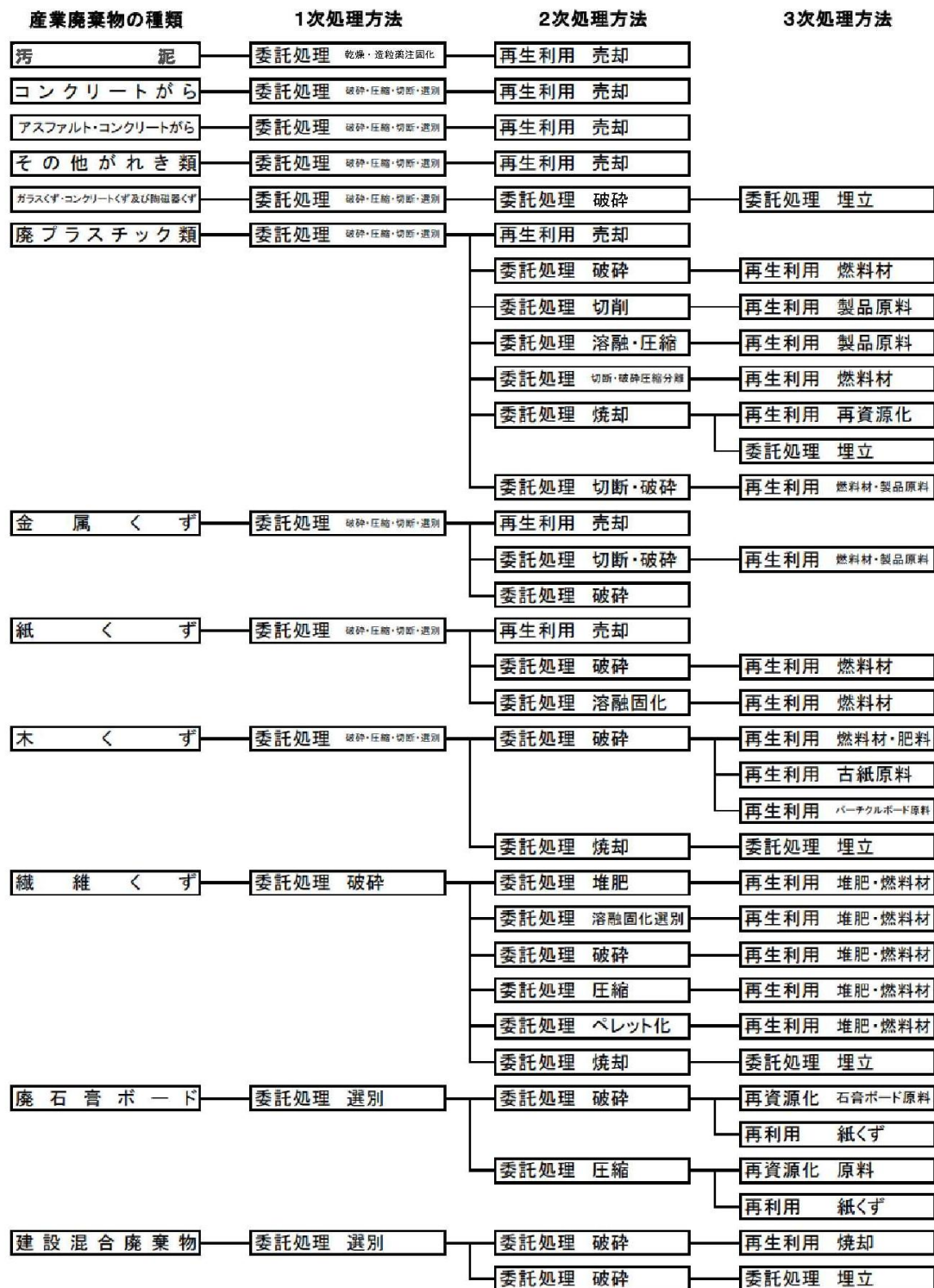
現状:前年度(令和6年度)実績量
計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量	自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量	処理の委託											
	排 出 量			自ら熱回収を 行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量			全 処 理 委 託 量											
									優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量					
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	1,541.72	1,387.55	—	—	—	—	—	—	—	—	1,541.72	1,387.55	1,541.72	1,387.55	1,541.72	1,387.55	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	9.31	8.38	—	—	—	—	—	—	—	—	9.31	8.38	9.31	8.38	9.31	8.38	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	0.55	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	0.55	0.50	0.55	0.50	0.55	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	364.38	327.94	—	—	—	—	—	—	—	—	364.38	327.94	22.20	19.98	364.38	327.94	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	9.77	8.79	—	—	—	—	—	—	—	—	9.77	8.79	0.00	0.00	9.77	8.79	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	91.00	81.90	—	—	—	—	—	—	—	—	91.00	81.90	91.00	81.90	12.48	11.23	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2,016.73	1,815.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,016.73	1,815.06	1,664.78	1,498.31	1,938.21	1,744.39	0.00	0.00	0.00	0.00

別添 1 処理工程図

産業廃棄物の処理工程

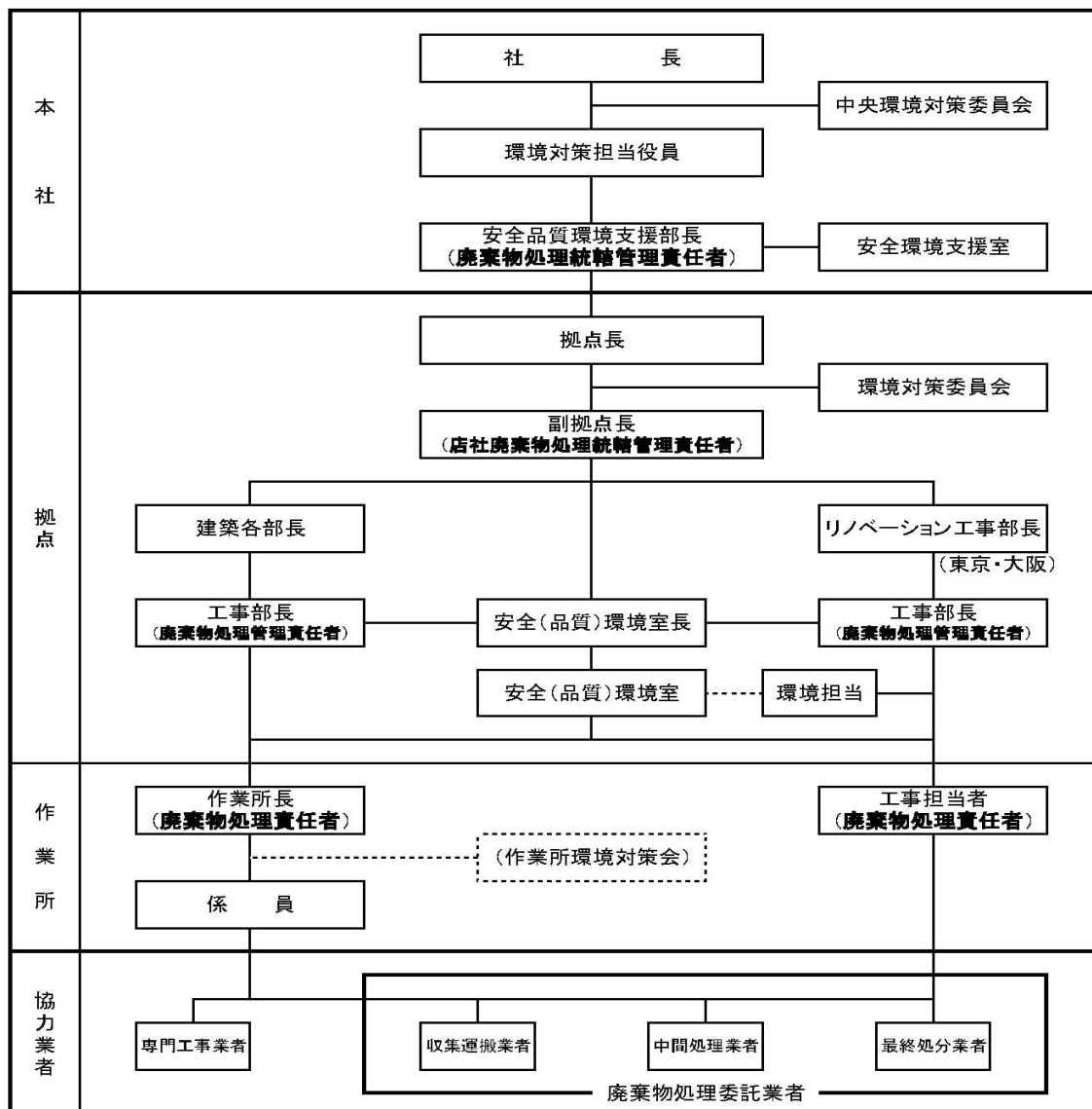


別添 2 管理体制図

令和7年4月1日

建設副産物 管理組織系統図

安全品質環境支援部



東京本店環境対策委員会

1) 委員構成

- ・委員長 拠点長
- ・委員 副拠点長、工事部長、管理部長、リノベーション工事部長
調達部長、設備部長、安全(品質)環境室長
- ・事務局 安全(品質)環境室

2) 活動内容

- ・拠点方針の決定
- ・社員及び協力会社の教育と啓発
- ・処理業者・再資源化施設の調査と選定
- ・作業所(現場)実務の支援と指導
- ・処理実績の確認と集計
- ・環境パトロールの実施と指導